

下田総合庁舎 定例記者懇談会資料

令和 7 年 2 月 25 日

賀茂地域局

次回の定例記者懇談会
令和 7 年 3 月 25 日（火）
午前 9 時 30 分から
会場：賀茂キャンパス

目 次

◎重要施策発表

賀茂地域における野菜摂取量増加に向けた取組・・・・・・・・・・	1
(賀茂健康福祉センター)	

◎令和7年3月の行事予定

行事予定表・・・・・・・・・・	17
若手職員プロジェクトチーム「あげアゲ隊」活動報告会の開催について・・	19
(賀茂地域局)	
令和6年度津波避難訓練・・・・・・・・・・	20
(賀茂地域局)	
令和6年度地域保健医療福祉活動研究会・・・・・・・・・・	22
(賀茂健康福祉センター)	
静岡県賀茂健康福祉センター広報誌「賀茂通信(第78号)」の発行について・	24
(賀茂健康福祉センター)	
テングサ作柄調査の実施について・・・・・・・・・・	29
(水産・海洋技術研究所 伊豆分場)	
消費者教育出前講座の実施・・・・・・・・・・	30
(賀茂広域消費生活センター)	

定例記者懇談会構成員名簿

	役職名	氏 名
1	賀茂地域局長	しらとり 白鳥 みちひろ 満啓
2	賀茂地域局副局長兼賀茂危機管理監	やまなし 山梨 よしゆき 義之
3	伊豆観光局長	いちかわ 市川 けん 顯
4	下田財務事務所長	かみや 神谷 あきよし 明良
5	賀茂健康福祉センター所長	すずき 鈴木 ふじお 藤生
6	賀茂健康福祉センター医監兼賀茂保健所長	ほんま 本間 よしゆき 善之
7	賀茂農林事務所長	ふかの 深野 ち え こ 智恵子
8	農林技術研究所伊豆農業研究センター長	ば ば 馬場 ふ じ お 富二夫
9	水産・海洋技術研究所伊豆分場長	わしやま 鷺山 ひろふみ 裕史
10	下田土木事務所長	さとう 佐藤 まさふみ 雅史
11	賀茂広域消費生活センター所長	くらしま 倉島 ひろあき 浩彰
12	賀茂出納室長	まつなが 松永 とし の 俊乃
13	賀茂地域教育振興センター参事	つちや 土屋 かずみ 一巳
14	賀茂地域局次長兼地域課長	しらつち 白土 たつお 達夫
15	賀茂地域局参事兼危機管理課長	すずき 鈴木 かなめ 要

賀茂地域定例記者懇談会 座席表
(下田総合庁舎別館 2階 賀茂キャンパス)

柱

スクリーン

重要施策発表者
賀茂健康福祉
センター長

C

PC

賀茂地域教育振興
センター参事

賀茂出納室長

参事兼賀茂広域
消費生活センター長 下田土木事務所長

水産・海洋技術研究所
伊豆分場長

伊豆農業研究センター長

プロ
ジェクター

賀茂農林事務所長

賀茂保健所長

下田財務事務所

副局長兼
賀茂危機管理監

賀茂地域局長

次長兼
地域課長

参事兼
危機管理課長

出入口

記者席

賀茂地域における 野菜摂取量増加に向けた取組

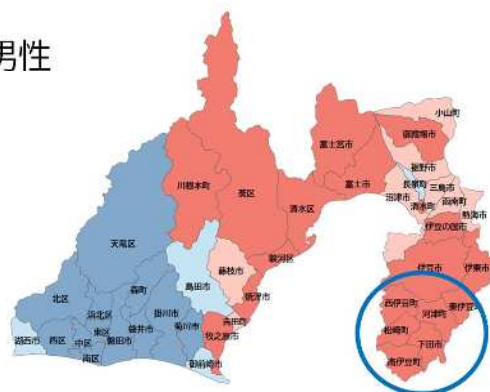
～野菜(カリウム)に着目した高血圧予防のためのアプローチ～

静岡県賀茂健康福祉センター健康増進課
令和7年2月25日(火)定例記者懇談会

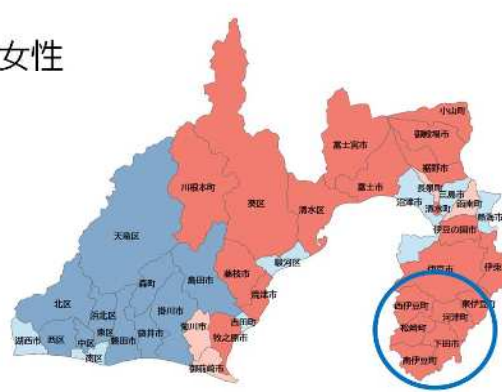
賀茂健康福祉センター健康増進課から、高血圧対策として、賀茂地域における住民の野菜摂取量増加に向けた取組について紹介します。

賀茂地域は高血圧有病者が有意に多い

男性



女性



- 全県に比べて、有意に多い
- 有意ではないが、全県に比べて多い
- 有意ではないが、全県に比べて少ない
- 全県に比べて、有意に少ない

(出典:令和3年度 特定健診・特定保健指導に係る健診等データ報告書 標準化該当比(発行:静岡県))

はじめに、賀茂地域は高血圧有病者が有意に多いという現状は御存知でしょうか。

こちらの図は、特定健診の結果から、高血圧有病者の分布状況を市町別に示したマップです。

賀茂地域に注目していただくと、男女とも濃い赤色で塗られており、高血圧有病者が有意に多いことが分かります。

賀茂健康福祉センターではこのことを地域の健康課題と捉え、住民の高血圧対策に力を入れて取り組んでいます。

※ 令和3年度データが最新値

※ マップの作成に当たり、標準化該当比を用いた。市町ごとの年齢構成の差は補正済みである。

※ 標準化該当比とは、静岡県全体を基準として当該市町の該当出現割合を示した値で、標準化該当比が基準より大きい場合は、当該市町の該当者出現割合は静岡県全体より高く、基準より小さい場合は、静岡県全体より低いことを示す。

図では、分かりやすいように統計的に有意になったかを地図に色づけし、市町間の差を示している。

計画上の位置づけ

計画

内容

国
(健康日本21 (第三次))

- ・現状
- ・課題
- ・ビジョン・基本的な方向
- ・目標



静岡県
(第4次静岡県健康増進計画)

- I 基本的事項
- II 健康づくりの方針
 - 柱1 個人の行動と健康状態の改善
 - 2 生活習慣病(NCDs)の発症予防・重症化予防
 - (1)高血圧
 - 柱2 社会環境の質の向上
 - 柱3 ライフコースアプローチを踏まえた健康づくり
 - 柱4 実行性を高める取組
 - (6)地域別の推進
 - ア 賀茂健康福祉センター 高血圧有病者の割合の減少

こちらは国・県の健康づくりの基本計画の関係性を示した体系図です。

県では高血圧対策を、下段にある第4次静岡県健康増進計画の中に位置づけ、県全体としても高血圧有病者の割合の減少や食塩摂取量の平均値の減少、野菜摂取量の平均値の増加などを目標に掲げており、賀茂地域では、特に高血圧有病者割合の減少を目標の一番に掲げ高血圧対策に取り組んでいます。

血圧を下げるためのアプローチ

減塩

食事から摂る食塩を減らす

例 減塩の普及啓発(減塩レシピ、減塩商品の販売促進等)

排塩

カリウムを多く含む食品(野菜等)を摂ることで食塩の排出を促す

例 野菜摂取量増加に向けた取組(ベジチェック、野菜を豊富に使ったレシピの普及)

高血圧に影響する生活習慣等として、栄養・食生活、身体活動・運動、飲酒、服薬などが挙げられますが、賀茂地域の住民の食生活の特徴として、干物や味噌汁、漬物など、食塩量の多い食品を食べる傾向が明らかとなっており、食の視点からの対策を行うこととしました。

食生活における食塩に着目した血圧を下げるためのアプローチには、「減塩」と「排塩」があります。

「減塩」は食塩摂取量の減少を目指したもので、聞き馴染みのある人も多いと思いますが、「排塩」は初めて耳にした人もいるのではないのでしょうか。

排塩とは、体の中のナトリウム（食塩）を排出する働きをもつカリウム（野菜など）を摂ることで、体の中の食塩の排出を促すことを目的としたアプローチ方法です。

減塩のためのアプローチ

① 血圧計マップ



② 高血圧対策広報番組



③ 減塩ポップ



④ 減塩レシピ



⑤ 減塩給食



減塩のためのアプローチとしては、
管内の血圧計を一般開放している場所を地図に落とし込んだ
①の「賀茂地域血圧計マップ」の作成・普及や、
市町の保健師や栄養士が出演し、高血圧予防について説明する
②の「高血圧症対策広報番組」のケーブルテレビ等での放映、
スーパー等での血圧計設置場所や減塩商品の目印となる
③の「減塩ポップ」の掲示、
減塩や野菜たっぷりなど健康に配慮した
④の「減塩レシピ」の作成・普及、
そして、減塩をテーマにしたモデル献立を賀茂地域全域で統一的に提供する
⑤の「減塩給食」などの取組を行ってきました。
高血圧対策のさらなるアプローチのため、令和6年度はこれらの「減塩」
に加え「排塩」の周知を重点的に行うこととしました。

排塩のためのアプローチ

○目的

賀茂地域の住民に野菜摂取量増加を啓発することで、食塩(ナトリウム)の排出を促す野菜(カリウム)の摂取量増加を目指す

※カリウム制限のある方は主治医の指示に従っていただく

○対象

スーパー利用客

○協力店舗

マックスバリュ伊豆下田店

マックスバリュエクスプレス下田銀座店

下田とうきゅう

マックスバリュ松崎店



「排塩」のためには、野菜などのカリウムを多く含む食品を摂取することが必要ですが、静岡県民の野菜摂取量の現状としては、国の目標量である1日350gに対して、おおよそ70g不足しています。

そこで県では「野菜マシマシ」を合い言葉に、県内各地で野菜摂取量増加に向けた取組を進めています。

賀茂健康福祉センターでは市町とともに、各地区のスーパーマーケットでキャンペーンを開催する中で、野菜摂取量増加に向けた啓発ブースを設置し、来店された地域住民を対象に啓発を行っています。

具体的には、令和6年度は、マックスバリュ伊豆下田店、マックスバリュエクスプレス下田銀座店、下田とうきゅう及びマックスバリュ松崎店に御協力をいただきました。

ベジチェック[®]とは？

手のひらをセンサーに押し当てるだけで
皮膚カロテノイド量から
推定野菜摂取量を測定できる機器



野菜の摂取量をスコア化(1~12)
スコア8より大きいと
十分に野菜を摂取できているレベル

野菜摂取量測定にはベジチェック[®]という機器を使用しました。
ベジチェック[®]は、手のひらをセンサーに押し当てるだけで、皮膚カロテノイド量から推定野菜摂取量を測定することができる機器です。

野菜(特に緑黄色野菜)を食べると、野菜に含まれるカロテノイドが体に吸収され、皮膚にも蓄積するため、皮膚のカロテノイド量を測定すれば、野菜摂取量を推定することができるという仕組みです。

スコアや摂取量はあくまで目安の値ですが、約30秒で手軽に測定できることから、参加者の方々にも好評をいただいています。

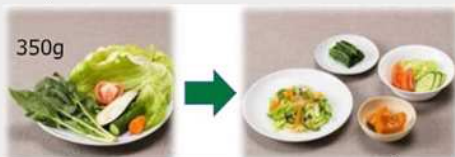
スコアは1から12で表示され、8より大きい数字であれば十分に野菜を摂取できているということになります。

野菜摂取量増加に向けた取組

○方法

ベジチェック®を用いて、野菜摂取量の測定を行い、スコアに応じたアドバイスを行う

☆目標量を知ってもらう



料理にすると
このくらいの量

測定中は
普段の野菜摂取について
聞き取りを実施



☆目標量に達するまで
あと手のひら何杯分摂ると良いかを伝える



熱を加えて
かさを減らすと
食べやすくなる

カゴメHPより

キャンペーンでは買い物のついでに寄っていただいた住民にベジチェック®で野菜摂取量を測定させていただきました。

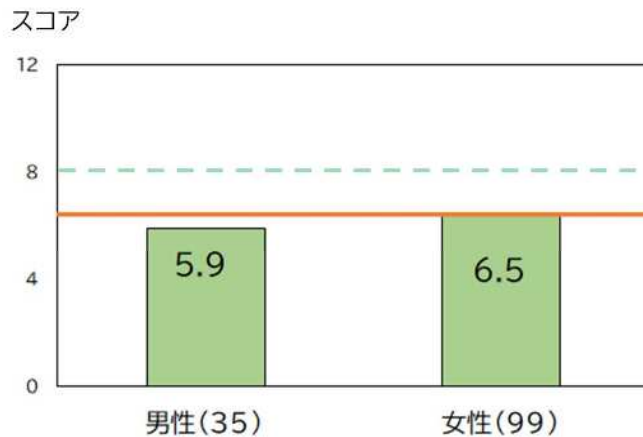
野菜摂取量が目標量に対して大きく離れている人には目標量を知ってもらい、目標量までもう少しの人には、あと手のひら何杯分の野菜を摂ると良いかについて、視覚的に分かりやすく伝えました。

さらに、ベジチェック®の測定中には、普段の野菜摂取状況の聴き取りも行い、聴き取り結果をもとにスコアとの関連を分析しました。

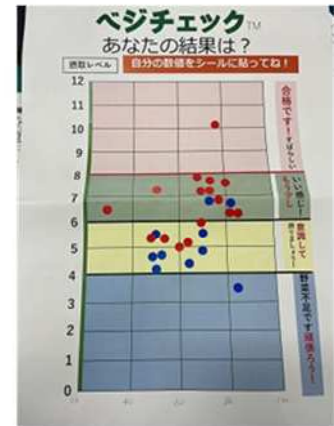
男女別ベジチェック[®]のスコア(平均値)

○女性の方がスコアが高い

マックスバリュエクスプレス下田銀座店(11月)
におけるスコアの分布↓



目標スコア8.0
全体平均6.4



※マックスバリュ伊豆下田店(7、10月)、マックスバリュエクスプレス下田銀座店(9、11月)スコア集計、聞き取り調査結果より

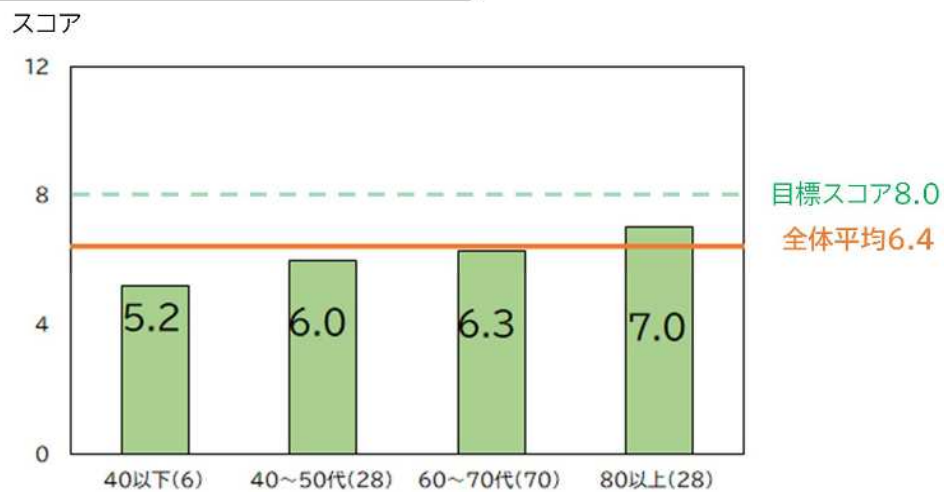
ここからは、聞き取り結果とスコアとの関連について主な結果を紹介します。

今回は、マックスバリュ伊豆下田店及びマックスバリュエクスプレス下田銀座店で行った4回分の結果を集計しました。

有効な回答が得られた計134人(男性35人、女性99人)の参加者の、スコアの平均値は8より大きいことが望ましいところ、男性5.9、女性6.5であり、女性の方がスコアの平均値が少し高かったです。

年代別ベジチェック®のスコア(平均値)

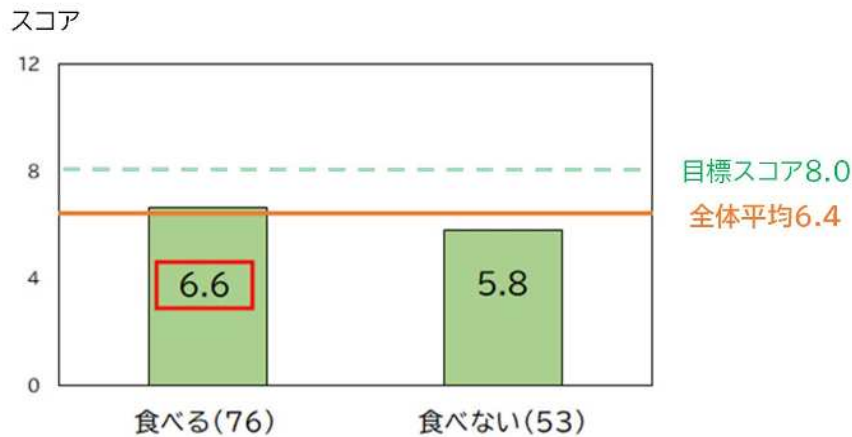
○年代が上がるほどスコアが高い



また、年代別にみると、年代が上がるほど、ベジチェック®のスコアの平均値も高くなりました。

朝食での野菜摂取状況による ベジチェック[®]のスコア(平均値)

- 朝食で野菜を食べない人は**約4割**
- 朝食で野菜を食べる人の方がスコアが高い**



測定をしながら、普段の野菜摂取状況について話を聴き取ったところ、朝食での野菜摂取量とベジチェック[®]の値に関連がありそうだったため、朝食での野菜摂取状況によるベジチェック[®]スコアを比較しました。

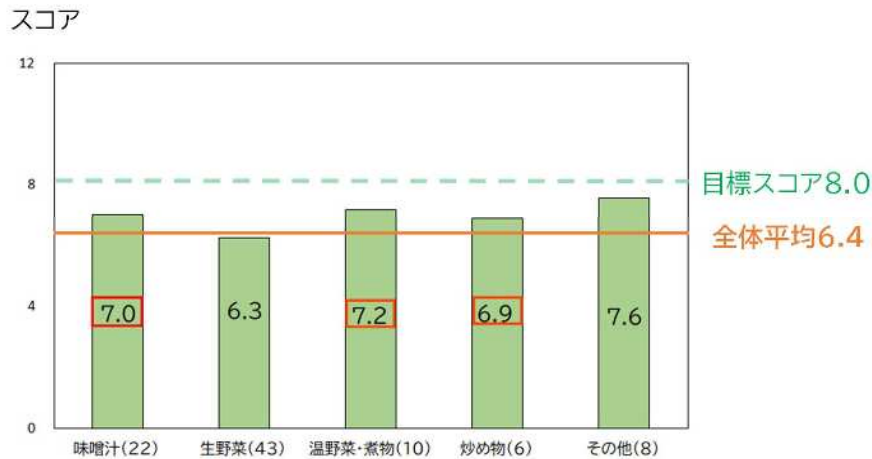
朝食において野菜を食べる人は76人、食べない人は53人と全体の約4割が朝食で野菜を食べていませんでした。

また、朝食で野菜を食べる人のスコアの平均値は6.6、食べない人の平均値は5.8でした。

1日3回の食事のうち、昼食、夕食で野菜を食べる人は多いが、朝食でも野菜を食べることで、スコアの平均値が高くなることが確認できました。

朝食で食べる野菜料理別 ベジチェック[®]のスコア(平均値)

- 朝食では生野菜として野菜を食べる人が多い
- スコアが高かった野菜料理は、野菜の**かさ**を減らして**食べられる料理**である



また、朝食で野菜を食べると回答した人には、どのような料理で野菜を食べているかの聴き取りをしました。

朝食では、手軽に食べることができる生野菜で野菜をたべる人が43人と多かったですが、スコアをみると、味噌汁や温野菜、煮物、炒め物など、野菜を加熱することにより、かさを減らすことのできる料理を食べている人の方がスコアの平均値が高いことが分かりました。

※その他には、野菜ジュースなどが含まれる。

野菜摂取量増加に向けた取組 まとめ

①ベジチェック®を実施して感じたこと

スコアが高い人は・・・

- ・男性より女性
- ・若い人より年齢が高い人
- ・朝食で野菜を食べる人
- ・野菜のかさを減らした料理を食べる人
- ・家庭菜園で野菜を作っている人
- ・野菜ジュースや果物を食べている人

②野菜摂取量を増やすために

- ・男性でも、若い人でも手軽に多くの野菜を食べることができる方法の周知
- ・1日3回の食事、特に朝食においても野菜を食べることが効果的



野菜摂取量を増加させて、「排塩」による高血圧予防につなげる！

住民にベジチェック®を用いた野菜摂取量の測定を通じて、普段の野菜摂取量を振り返るきっかけをつくることができました。

野菜摂取量が目標量に達している人は、モチベーションの維持につながり、不足している人には野菜不足に気付く機会を与えることができました。

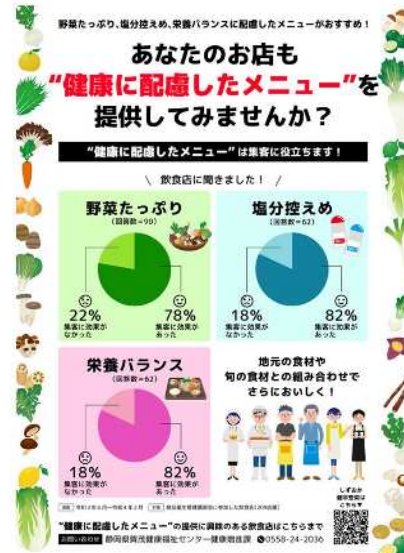
野菜摂取量増加に向けた今後の方向性としては、忙しい朝でも手軽に多くの野菜を食べることができる方法を周知していくことが重要です。

「減塩」に併せて、野菜摂取量を増加させることで「排塩」による高血圧対策を進めていきます。

今後の方向性

賀茂地域の高血圧対策を進めるにあたり

- 食生活の視点では「減塩」「排塩」のさらなる周知、啓発を進める
- 健康に関心のない人でも自然に減塩につながる**環境づくり**に取り組む
(例) 飲食店における「健康に配慮したメニュー」の提供を進める
- 引き続き、市町や企業（スーパー等）、各種団体等と連携し協働した**健康づくり運動を展開**



賀茂地域の高血圧対策を進めるに当たり、食生活の視点では、「減塩」「排塩」のさらなる周知、啓発を進めていきます。

また、健康に関心のない人でも自然に減塩につながる環境づくりに取り組んでいきたいです。

スライドに掲載したチラシは、令和6年度の下田地区食品衛生管理講習会で飲食店向けに配布したのですが、健康に配慮したメニューの提供が、食べる側と提供する側の両方のメリットになることを伝えながら、飲食店における健康に配慮したメニューの提供の体制づくりを進めていきたいです。

引き続き、市町や企業、各種団体等と連携し協働した健康づくり運動を展開していきます。

ご清聴
ありがとうございました

以上で当センターの重要施策の紹介を終わります。
引き続き賀茂地域一丸となり、健康に留意した望ましい食生活を実践できる環境を整備していく所存です。今後ともよろしくお願い申し上げます。

参考

野菜たっぷり、塩分控えめ、栄養バランスに配慮したメニューがおすすめ！

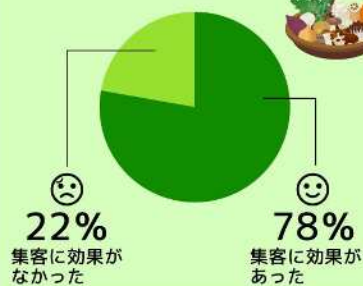
あなたのお店も “健康に配慮したメニュー”を 提供してみませんか？

“健康に配慮したメニュー”は集客に役立ちます！

＼ 飲食店に聞きました！ ／

野菜たっぷり

(回答数=90)



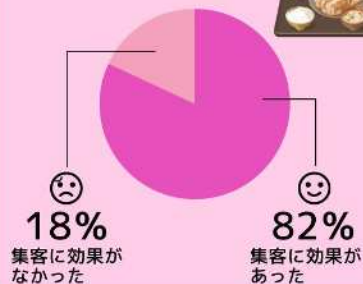
塩分控えめ

(回答数=62)



栄養バランス

(回答数=62)



地元の食材や
旬の食材との組み合わせで
さらにおいしく！



しずおか
健康増進は
こちら▼



調査 令和3年6月～令和4年2月 対象 食品衛生管理講習会に参加した飲食店(209店舗)

“健康に配慮したメニュー”の提供に興味のある飲食店はこちらまで

お問い合わせ 静岡県賀茂健康福祉センター健康増進課 ☎0558-24-2036

行事予定表（令和7年3月分）

日	曜日	賀茂地域局	下田財務事務所	賀茂健康福祉センター	賀茂農林事務所	下田土木事務所
1	土			賀茂通信（第78号）発行		
2	日					
3	月					
4	火					
5	水					
6	木					
7	金					
8	土					
9	日	津波避難訓練 下田市、東伊豆町、南伊豆町、松崎町、西伊豆町				
10	月	「あげアゲ隊」活動報告会 14:00-15:00 賀茂キャンパス				
11	火	防災講座 10:00-11:00 聖和保育園				
12	水					
13	木					
14	金					
15	土	津波避難訓練 河津町				
16	日					
17	月					
18	火					
19	水					
20	木					
21	金					
22	土					
23	日					
24	月					
25	火	定例記者懇談会 9:30～ 賀茂キャンパス				
26	水					
27	木					
28	金					
29	土					
30	日					
31	月					

行事予定表（令和7年3月分）

日	曜日	農林技術研究所 伊豆農業研究センター	水産・海洋技術研究所 伊豆分場	賀茂広域 消費生活センター	賀茂地域 教育振興センター	伊豆観光局
1	土					
2	日					
3	月					
4	火					
5	水					
6	木		テングサ作柄調査（初日） 9:15～ 下田市白浜 板見港			
7	金					
8	土					
9	日					
10	月					
11	火					
12	水					
13	木					
14	金					
15	土					
16	日					
17	月			高校生消費者教育出前講座 8:45-9:35 県立松崎高校		
18	火					
19	水					
20	木					
21	金					
22	土					
23	日					
24	月					
25	火					
26	水					
27	木					
28	金					
29	土					
30	日					
31	月					

定例記者懇談会資料

若手職員プロジェクトチーム「あげアゲ隊」活動報告会の開催について

(賀茂地域局)

1 概要

「あげアゲ隊」は、賀茂地域の課題解決及び若手職員の交流機会創出を目的に、令和3年度に賀茂地域の若手職員を中心に結成されたプロジェクトチームである。

結成4年目となる今年度は、各事務所から集まった32名をメンバーとして、4チームに分かれて活動を行ってきた。今回、1年間の活動を振り返り、活動報告会を開催する。

2 実施内容

日 時：令和7年3月10日（月）午後2時から3時まで

場 所：賀茂キャンパス（下田総合庁舎 別館2階）

参加者：あげアゲ隊メンバー 29人

内 容：（1）各チームの活動の紹介と反省

〔予定〕（2）メンバーアンケート結果の振り返り

（3）意見交換

3 活動内容

チーム名	活動内容
魅力発信	・賀茂地域の魅力発信通信「賀茂いいカモ！」発行（県庁内向け） ・賀茂地域に赴任する県職員向けのガイドブック情報更新・発行
業務効率化	・業務効率化研究会の実施（県庁内向け）
交流創出（市町交流）	・市町職員との交流会実施
交流創出（賀茂キャンパス活用）	・異業種交流会実施

4 参考（これまでの取組）

令和3年度	・プロジェクトチーム発足 ・賀茂地域に赴任する県職員向けのガイドブックを発行
令和4年度	・3つのチームに分かれて、ガイドブック情報更新、賀茂地域の魅力発信、アンケート調査実施
令和5年度	・3つのチームに分かれて、ガイドブック情報更新・賀茂地域の魅力発信、業務効率化勉強会実施、市町職員との交流会実施

※取材していただける方は、以下担当まで御連絡ください。

担 当：地域課 野村

連絡先：0558-24-2202

令和6年度 津波避難訓練

地震だ、津波だ、すぐ避難！ ～少しでも早く、少しでも高く～

(賀茂地域局)

1 概要

東日本大震災の教訓等を踏まえ、県内の沿岸地域において、3月9日を統一実施日として津波避難訓練を実施する。

訓練では、指定避難場所及び津波避難施設や避難路などの点検を通じて、津波避難における課題を再確認する。

2 統一実施日

令和7年3月9日 《津波対策推進旬間 3月7日(金)～3月16日(日)》

3 賀茂地域における訓練日

3月9日(日)：下田市、東伊豆町、南伊豆町、松崎町、西伊豆町

3月15日(土)：河津町(河津桜まつり開催期間の延長を踏まえ、訓練日を決定)

4 実施主体等

(1) 実施主体 自主防災組織、消防団等

(2) 協力機関等 県、市町、警察、自衛隊等

5 特徴のある訓練等

別紙1参照

6 訓練中止の決定

南海トラフ地震臨時情報が発表された場合、気象警報が発表された場合など、地域の皆様の安全確保を最優先として、市町ごとに判断します。

各市町連絡先一覧

市町名	担当課	連絡先
下田市	防災安全課	0558-36-4145
東伊豆町	防災課	0557-95-1103
河津町	防災課	0558-34-1112
南伊豆町	総務課	0558-62-6211
松崎町	総務課	0558-42-3963
西伊豆町	防災課	0558-52-1965

担当：危機管理課 高野

連絡先：0558-24-2004

賀茂地域における津波避難訓練 概要

市町	日時	開催地区数 参加人数	主な訓練			
			地区	人数	場所	内容
下田市	3月9日 9:00～12:00	17地区 3,606人	中一区	200名	プレベール西中 (津波避難ビル)	・周辺住民による避難ビルへ避難
			碁石が浜	60名	碁石が浜テニスコート	・各世帯が安否確認の黄色旗を掲揚 ・テニスコートで消火及び救命訓練 (AED)
東伊豆町	3月9日(日) 9:00～12:00	11地区 335人	熱川地区	50名	熱川海岸	・海岸にいる観光客への避難呼び掛け
河津町	3月15日(土) 10:00～11:00	7地区 620人	訓練内容については、自主防災組織と調整中			
南伊豆町	3月9日(日) 9:00～12:00	14地区 1,015人	湊 手石 青市	100名	南伊豆東中学校	・避難住民等による避難所設営 (避難所設営、物資搬入、避難所生活体験など)
松崎町	3月9日(日) 8:30～12:00	35地区 1,839人	江奈4	50名	伊豆まつざき荘	・各家庭から伊豆まつざき荘6階への避難 ・備蓄食料品、非常持出品、避難経路の確認
西伊豆町	3月9日(日) 非公表～11:30	38地区 1,796人	築地地区	50名	仁科小学校(屋上)	・各家庭から仁科小学校(屋上)への避難
			宮ヶ原地区	50名	やまびこ荘 宮ヶ原ヘリポート	・陸自ヘリによる緊急支援物資輸送 ・陸自ヘリによる緊急患者輸送
		122地区 9,211人				

令和7年2月25日

定例記者懇談会資料

令和6年度地域保健医療福祉活動研究会

(賀茂健康福祉センター)

(目的)

賀茂地域の保健・医療・福祉関係者の資質向上並びに関係機関の情報交換及び連携を図るため、日常活動や研究成果の発表などを行う研究会を開催します。

(概要)

日 時	令和7年2月28日(金)午後1時30分から4時30分まで
会 場	静岡県下田総合庁舎2階 第8会議室(賀茂キャンパス)(下田市中531-1)
対 象 者	賀茂地域の医療、介護、福祉、行政機関等の従事者
内 容	(1)講話「リアルワールドデータを用いた健康エビデンスの構築 ～静岡県国保データベース(SKDB)の活用～」 静岡社会健康医学大学院大学 講師 佐藤 洋子 氏 (2)研究発表 ※発表される研究テーマは別紙次第(案)のとおり (3)講評及び助言 静岡社会健康医学大学院大学 講師 佐藤 洋子 氏 静岡県賀茂健康福祉センター 賀茂保健所長 本間 善之

(その他)

- ・本研究会は、平成16年度から実施しております。
- ・当日取材にお越しいただく場合は、担当まで連絡をお願いします。

担 当：健康増進課
連絡先：0558-24-2037

令和6年度 地域保健医療福祉活動研究会

日 時 令和7年2月28日(金)

午後1時30分から4時30分まで

会 場 静岡県下田総合庁舎

2階第8会議室(賀茂キャンパス)

次 第	
1	開会
2	講話「リアルワールドデータを用いた健康エビデンスの構築 ～静岡県国保データベース（SKDB）の活用～」 静岡社会健康医学大学院大学 講師 佐藤 洋子 氏
3	研究発表※
(1)	賀茂地域住民の咀嚼力と栄養・食品摂取状況等の関連性からフレイル対策を考える ～オーラルフレイルの視点から～ 賀茂健康福祉センター 健康増進課 栗崎 涼子
(2)	介護認定を受けている者と受けていない者の生活習慣等の違いについて 賀茂健康福祉センター 福祉課 福地 紫苑
(3)	骨粗鬆症検診受診後の行動変容についての調査 西伊豆町 健康福祉課 吉野 翔馬
(4)	在宅での看取り希望があった患者・家族への支援 伊豆今井浜病院 看護部 佐藤 花音
(5)	認知症患者における昼夜逆転改善への看護介入 伊豆今井浜病院 看護部 小平 綾乃
(6)	小病院2次救急の夜間外来勤務に従事する看護師の就業継続の動機 西伊豆健育会病院 看護部 関 幸江
(7)	マセレーター導入における排泄支援の見直し～パルプ便器使用数の削減～ 西伊豆健育会病院 地域包括ケア病棟 石田 楓
4	講評・助言 静岡社会健康医学大学院大学 講師 佐藤 洋子 氏 静岡県賀茂保健所長 本間 善之
5	閉会

※研究発表は、演題ごと発表7分・質疑応答3分の計10分間ずつ行う。

静岡県賀茂健康福祉センター広報誌

「賀茂通信（第78号）」の発行について

（静岡県賀茂健康福祉センター福祉課）

（目的）

賀茂健康福祉センターでは、広報誌「賀茂通信（かもめーる）」を年4回定期発行している。（6月、9月、12月及び3月の各1日付け。発行部数約3,400部。）

「かもめーる」により、センターが行っている業務を分かりやすく紹介することで、業務の目的や内容について御理解をいただき、住民にとって身近で信頼されるセンターとなることを目指している。

市町の協力により、管内の全戸に配付または回覧するほか、当センターのホームページにも掲載する。

今回、最新号の第78号を3月1日に発行する。

（概要）

第78号の内容は以下のとおり

- 自殺対策強化月間／行事予定
- 下田総合庁舎福産品販売会
- 糖尿病と歯周病の関係／医療健康部長あいさつ
- 水を大切に！

担 当 福祉課福祉こども班
連絡先 0558-24-2055

静岡県賀茂健康福祉センター
賀茂保健所
賀茂児童相談所
賀茂知的障害者更生相談所

互いに支えあう気持ち、守られるいのち

3月は、統計的に自殺者が多くなる傾向にあります。

そのため国は、毎年3月を「**自殺対策強化月間**」と決めました。互いに支えあう気持ちを持つことで守られるいのちがあります。「誰も自殺に追い込まれることのない社会」を実現すれば、「誰でも住みやすい地域」にもなります。

どうか一人で悩みを抱え込まずに、まずは家族や友人、職場の同僚など、身近な人にひとこと相談してください。



自殺予防のためにあなたに知ってほしい4つのキーワード

身近な人が「いつもと違う」ことに気づいたら声をかけてみましょう。

気づき



問題に応じて専門家による適切な支援を受けることで、具体的な解決方法が見つかるかもしれません。

つなぎ



傾聴



直接的な解決にいらなくても、話を聴いてもらえると、気持ちが楽になることがあります。

見守り



悩んでいる人が元気を取り戻すには時間がかかります。周りの人みんなで見守ることが大切です。

【厚生労働省ウェブサイト まもろうよこころ】

電話や SNS の相談窓口などの情報を分かりやすく紹介しています。

<https://www.mhlw.go.jp/mamorouyokokoro/>



この記事に関するお問合せ：賀茂健康福祉センター福祉課 0558-24-2056

3月	★自殺対策強化月間★子どもの予防接種週間(1日～7日)★女性の健康週間(1日～8日) ★耳の日(3日)★愛の援聴週間(3日～9日)★春の睡眠の日(18日)/春の睡眠週間(11日～25日) ★世界結核デー(24日)
4月	★春の全国交通安全運動★未成年者飲酒防止強調月間★発達障害啓発週間(2日～8日) ★県戦没戦災死者春季追悼式(25日)
5月	★不正大麻・けし撲滅運動(1日～6月30日)★こどもの日(5日)★児童福祉週間(5日～11日) ★世界赤十字デー(8日)★看護の日(12日)/看護週間(11日～17日)★民生委員・児童委員の日(12日)/民生委員・児童委員活動強化週間(12日～18日)★高血圧の日(17日) ★ごみ減量・リサイクル推進週間/ごみ不法投棄監視ウィーク(30日～6月5日) ★ごみゼロの日(30日)★世界禁煙デー(31日)★禁煙週間(31日～6月6日)

下田総合庁舎福産品販売会を開催しました

県内各地域でも開催されていますが、賀茂健康福祉センターでは、昨年9月5日～6日、下田総合庁舎において、初めて福産品販売会を開催しました。

賀茂地域にある10施設が参加し、お弁当、パン・クッキー、コーヒー、野菜、手芸品、縫製品、木工品、陶器などの福産品を販売しました。

当日、多くの方に来庁いただき、障害のある方が心を込めて一生懸命つくった品々を手に取り購入していただいたことに感謝いたします。

賀茂健康福祉センターでは、今後も障害のある方々の就労や技能習得、そして自立に向けこのような取組をしていきますので、引き続き、応援をお願いします。

当日参加いただいた事業所の皆様

事業所(10事業所)	所在地	主な販売品目
伊豆つくし学園	下田市	手芸品
すぎのこ作業所	下田市	陶器・木工・手芸品
ワークおおぞら	下田市	木工品・縫製品
東伊豆ワークセンター	東伊豆町	木工品・縫製品
東伊豆町社会福祉協議会	東伊豆町	紙紐籠
あしたば作業所	南伊豆町	野菜、縫製品
南伊豆地域生活支援センターふれあい	南伊豆町	手芸品
おっけい	南伊豆町	コーヒー・コーヒー豆
ワークショップマナ	西伊豆町	パン、クッキー
とことこ西伊豆	西伊豆町	弁当

多くの方に参加・来庁していただきました。



販売福産品の紹介

1 とことこ西伊豆さんのお弁当



マナ・とこ弁当



マナ・とこさんど弁当

ワークショップマナさんのパンや野菜を素材として使用

2 すぎのこ作業所さんの縫製品(ペンケース)



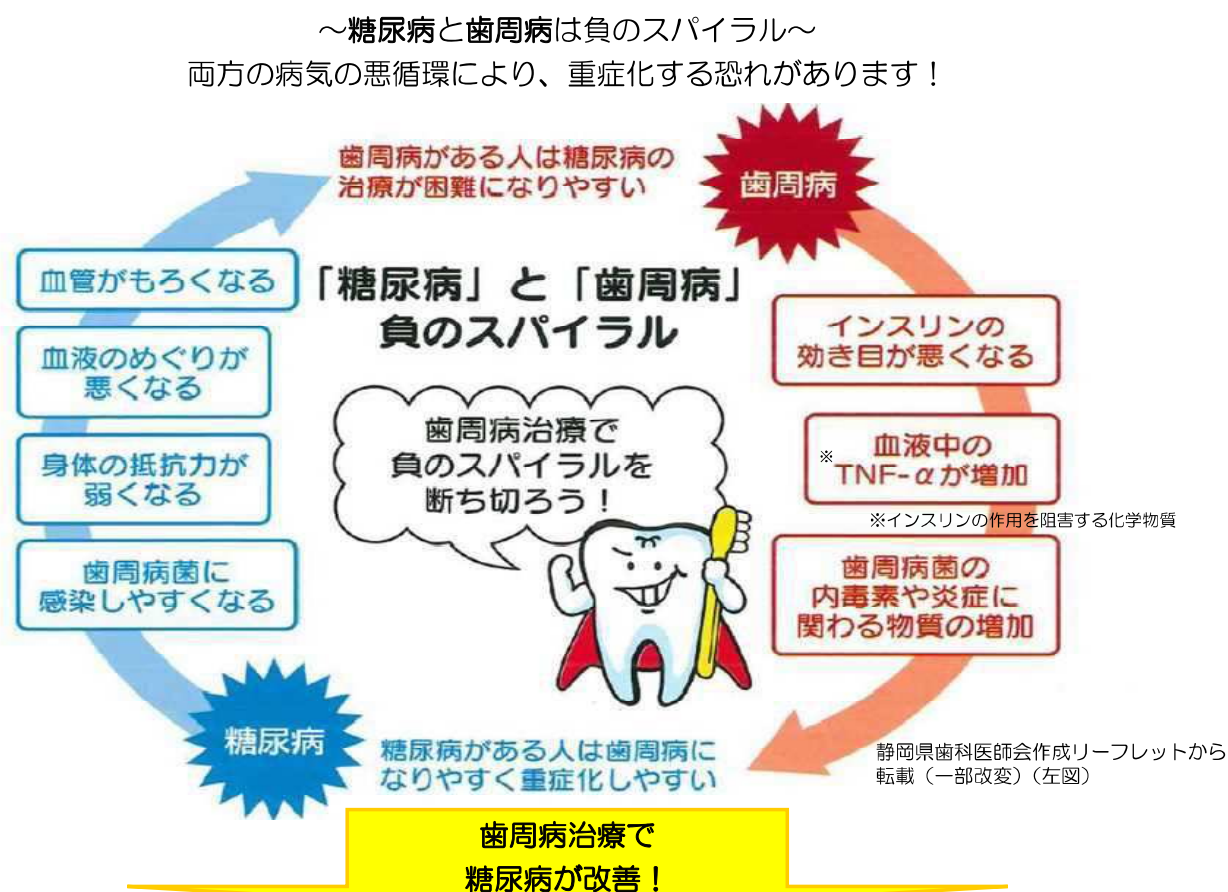
参加いただいた事業所のみなさんの声

- ・多くの報道機関の取材があったことで、一般県民が多く来庁していただきよかった。
- ・普段あまり販売の場に出る機会がない利用者から「自分が作った作品が売れていき、楽しくやる気が出た。」という感想が出た。
- ・多くの来庁者があり、総合庁舎の活気を増す機会となったと思う。
- ・新型コロナウイルスにより、授産品の販売の場が減少していたが、総合庁舎という新たな場ができてよかった。
- ・コロナの影響で今まで事業所同士の横のつながりが薄くなっていったが、この場で、他事業所の授産品の種類を学んだり、職員や利用者同士の交流の場となった。

(追伸) 去る2月20日に第2回目の下田総合庁舎福産品販売会を開催しました。
(紙面の編集スケジュールの関係により今月号で紹介できず恐縮です。)

賀茂健康福祉センター福祉課 電話 0558-24-2055 🍌

血糖値が高い人は、歯科健診を受けましょう！



重症化する前に、**定期的に歯科健診**を受けることをおすすめします。

まずはお近くの歯科医院を受診しましょう。

令和7年度に20歳、30歳、40歳、50歳、60歳、70歳をむかえるあなたは、市町が実施する**無料**の歯周病検診（実施期間：令和7年6月～令和8年2月）を受診できます。

お住まいの市町から検診案内が届いたら、この機会に検診を予約してみませんか？

この記事に関するお問合せ：賀茂健康福祉センター健康増進課 0558-24-2037

所内各部門の参事・部長からの挨拶(第3回:医療健康部長)

医療健康部長兼地域医療課長の高木陽子です。

医療健康部は、地域医療課と健康増進課の2課から成り、健康づくり、歯科保健、食育、病気の予防と対策、感染症、地域医療など皆様の生活に係る業務を担当しています。

技術職と行政職の混合チームであり、採用3年以内の若手職員が赴任することが多い部です。

初めての地域で慣れない業務から始まりますが、この賀茂地域がどんなところなのか、担当業務や県の果たす役割について、自身の言葉で説明できるようになってもらいたいと思っています。

今年度は若手職員が受け持ち地域や担当業務について説明する「お仕事紹介」スライドを作成し、他の健康福祉センターや実習にきた学生に見てもらおう試みを行い、先輩職員にも新たな発見があったようです。

これからも、この地域で成長させていただくと思いますが、温かくお声がけいただければ幸いです。

医療健康部長兼地域医療課長 高木陽子

水を大切にしましょう!

地球は「水の惑星」と言われますが、人が容易に利用できる河川や湖沼などの水は全体の0.01%しかありません。

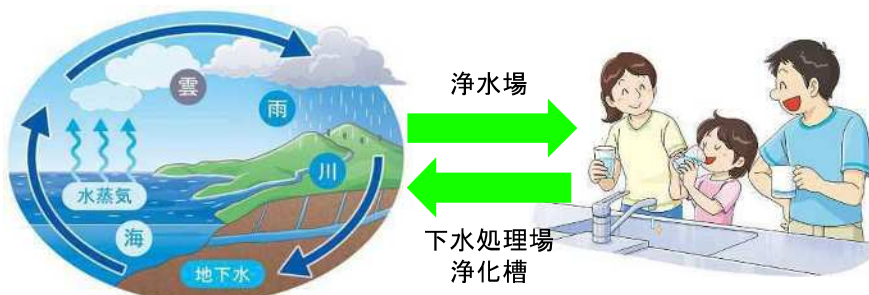


海	97.47%
氷・氷河	1.76%
地下水	0.76%
河川・湖沼	0.01%

水は貴重な資源です!



飲み水はどこから? 使った水はどこへ?



水は環境中を循環しています。
私たちはその水を浄化して使用し、排水は処理して環境中に戻しています。

水環境を汚さないためのお願い

今後もきれいな水環境を保つため、節水する・川や海を汚さない対応をお願いします。



節水!

水を出したままにしない。



川や海を汚さない!

ゴミを捨てたり、汚い水を流さない。



生きがいと健康づくり
イメージキャラクター
「ちゃっぴー」

いのち輝き、笑顔あふれる社会を。

静岡県健康福祉部



静岡県賀茂健康福祉センター

〒415-0016 下田市中531-1(静岡県下田総合庁舎4階) 電話 0558-24-2032 FAX 0558-24-2159
ホームページ

<https://www.pref.shizuoka.jp/kenkofukushi/fukushicenter/kamokenkofukushi/index.html>

テングサ作柄調査の実施について

(静岡県水産・海洋技術研究所伊豆分場)

(要旨)

静岡県水産・海洋技術研究所伊豆分場は、テングサの作柄を予測するための調査を実施しています。今回は3月から4月にかけて実施します。

(概要)

1 テングサの生産状況

本県は全国有数のテングサ生産県で、令和5年の生産量は全国3位*となっています。県内では伊豆半島でのみ生産があり、主産地は伊豆市土肥、西伊豆町仁科等です。

※令和5年 生産量（全国）：千葉 104t 愛媛 50t 静岡 46t 全国 268t

令和4年 生産量（全国）：千葉 142t 静岡 66t 愛媛 39t 全国 331t

2 調査内容

テングサ漁場に潜水して1m²あたりのテングサを採取後、長さや重さを船上で測定し、その年の生育状況を調べます。

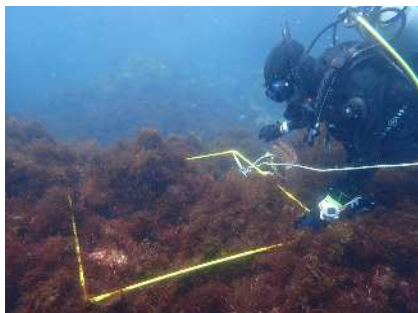
3 調査日程

初回調査日	地区名
令和7年3月6日（木）9時15分から	下田（白浜板見港）

（他の地区は3月～4月に実施する予定）

4 取材について

3月6日（木）の下田地区の調査は取材可能です。当場の保有する調査船「伊豆丸」で調査を行います。当日の海況により中止や延期が生じる可能性があります。また、乗船人数に限りがありますので、取材を希望される場合は、3月3日（月）までに担当に御連絡ください。



担 当：水産・海洋技術研究所伊豆分場

研究員 角田充弘

連絡先：0558-22-0835

メール：suigi-izu@pref.shizuoka.lg.jp

消費者教育出前講座の実施

(賀茂広域消費生活センター)

(概要)

令和4年4月から成年年齢が引き下げられたことに伴い、18歳になると親の同意がなくても契約ができるようになる一方で、未成年者取消権が適用されなくなるため、悪質事業者に狙われやすくなり、様々な消費者トラブルに巻き込まれることが懸念されます。

つきましては、高校生で成人となる生徒の消費者被害を防止するため、以下のとおり県から講師を派遣して出前講座を実施します。

(出前講座の予定)

日 時	場 所	対 象
令和6年5月21日(火) 13:10~13:30	県立下田高校【実施済】	保護者
令和6年6月17日(月) 15:20~16:10	県立下田高校(全日制)【実施済】	2年生
令和6年9月25日(水) 17:40~19:00	県立下田高校(定時制)【実施済】	1~4年生
令和7年1月16日(木) 11:00~12:00	県立伊豆の国特別支援学校 伊豆松崎分校【実施済】	2年生
令和7年3月17日(月) 8:45~9:35	県立松崎高校	1~2年生

(内容)

- 成年を迎えるにあたって必要な消費生活の基礎知識
 - ・ 契約やお金 の基礎知識
 - ・ 若者が狙われやすい商法
 - ・ ネットショッピングの注意点
 - ・ 暮らしとお金
 - ・ 消費生活センターの紹介 など

担当： 倉島

連絡先： 0558-24-2206